

下郷集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成 21 年 4 月 1 日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	米子市	組織名	下郷営農組合
1 地区の範囲 米子市下郷地区			
2 地区の概要			
水田面積	24.354		ha
主な水田栽培作物	水 稲 、 大 豆 、 白 ネ ギ		
農家数	53		戸
認定農業者数	2		経営体
地域水田農業ビジョンの担い手数	3		経営体
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・ 設立時期（規約等の制定日）【平成 20 年 8 月 1 日】			
	組織形態（該当形態に）	加入農家数	
【現状】前年度実績 （20年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未組織 ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型 	0 戸	
【目標】事業開始翌年度 （22年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型 	27 戸	
4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標			
項 目	【現状】	【目標】	
集 積 面 積	0 ha	10.692 ha	
うち作業受託	0 ha	10.692 ha	
対象水田面積 A	19.736 ha	19.736 ha	
集 積 率 / A	0 %	54.18 %	
うち作業受託 / A	0 %	54.18 %	
注 1) の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。			
注 2) の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。			
注 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

1 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

<p>【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】</p>	
1	<p>担い手の明確化及び水田利用集積目標</p> <p>下郷集落には24.35haの水田を53戸の農家が所有していますが、現在10戸の農家は農地を下郷内の2名の担い手等に利用権設定を行っており、実際に耕作している農家は43戸です。それでも尚数年後には耕作できない農家が増える見込みです。</p> <p>現在当地区には地域水田農業ビジョンに位置づけられた担い手農業者が3経営体あり、一つは大豆栽培を行う箕蚊屋大豆組合です。その他の2戸の担い手農業者が水田4.7haで水稲、大豆及び白ネギを栽培しておりますが集落営農組織へ加入しオペレーター等に参加して同一行動を取る意向です。そのほか、集落内には独自に、受託を請け負っている農家が1戸ありますが、将来的には、集落営農組織に参加する予定です。</p> <p>このため、下郷営農組合を設立し、当面、機械を購入し受託作業を行い水稲生産コストの低減を図るとともに、定年退職者を中心にオペレーターの育成を進め、将来的には耕作できなくなった農家の受け皿組織としての体制整備を目指します。</p> <p>5年後の集積目標として、農家数43戸、面積15haを目指します。</p>
2	<p>水田作付計画、生産調整の方針・具体策</p> <p>水稲については、ヒトメボレの栽培面積が90%を占めており、作業が集中するため、コシヒカリの作付を増やして、作付時期の分散を図る。</p> <p>また転作物目については当地区16名が箕蚊屋大豆組合員として大豆栽培に取り組み団地化を進め大豆のブロックローテーションを行い、収量・品質の向上を目指しております。</p>
3	<p>農業用機械施設の効率利用</p> <p>平成21年春までに5条植え田植機を1台新たに導入し、作業受託体制を整備して田植機の無い農家の作業受託を行います、尚現在の田植機は廃棄処分とする予定です。</p> <p>コンバインについても平成22年秋には1台購入し作業受託体制を用いて作業受託を行います。個人及び数戸で共同利用している耐用年数が経過したコンバインについては、廃棄処分する予定です。</p> <p>水稲の乾燥調整及び大豆の、乾燥調整等については、JAが整備している機械施設を活用し、大豆の播種、収穫については箕蚊屋大豆組合にて行います。</p> <p>尚購入計画機械の田植機は田植と同時の側条施肥、除草剤散布及び畦ロータ機能付を考えております、これにより肥料散布、田植時の枕地ならし及び田植後の除草剤散布等の労力の軽減図ります。</p> <p>コンバインについては、56馬力に馬力アップし刈取り時の作業効率の向上を図り。また刈り取り部詰り解除機能付きにすることにより刈り取り時に稲藁が移送部分及びチェーンに絡まった場合に藁除去作業の短縮を図ります。</p>

農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月
乗用田植機	5条植	1台	2,000,000	平成21年4月
コンバイン	4条刈	1台	8,000,000	平成22年9月